

『 自分も大切・相手も大切 』

藤枝市立藤枝小学校

月別	ピア・サポート活動 ピア・サポートを中心に据えた行事	プログラム	職員研修
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年生を迎える会</li> <li>・ 春の蓮華寺池活動</li> <li>・ 校内子ども会</li> <li>・ 委員会活動</li> </ul>	<p><u>1学期「仲間・挑戦」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業や学校生活を通して、クラスや学年の友だちのことを知って仲良くなる。</li> <li>・ ペア活動や運動会を通して異学年交流の機会を持ち、ペアや他学年の友だちと仲良くなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員会議で「ピア・サポート」の考え方について、全職員で共通理解を図る。</li> <li>・ 事前指導と事後指導を必ず行うよう徹底を図る(通年)。</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動会</li> </ul>		
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ペア活動</li> <li>・ 委員会活動</li> <li>・ クラブ活動</li> </ul>		
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ペア活動</li> <li>・ クラブ活動</li> </ul>	<p><u>2学期「実り」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前期の活動をふり返し、後期をよりよい活動にする。</li> <li>・ 1学期のペア活動や蓮華寺池活動のふり返しを生かし、ペアとの仲を深める。</li> <li>・ 学年行事を通して、クラスや学年の友だちの良さをさらに見つける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行事後にカード等を用いたふり返しを行う。</li> <li>・ ふり返しで見られた「ピア・サポートの姿」を全体で共有し、掲示する(通年)。</li> </ul>
8月			
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ペア活動</li> <li>・ 5年自然教室</li> <li>・ 委員会活動(前期まとめ)</li> </ul>		
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ペア活動</li> <li>・ 音楽会</li> <li>・ 委員会活動</li> </ul>	<p><u>3学期「輝き」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年間をふり返し、次の学年への準備をする。</li> <li>・ お世話になった友だちやペアの子に、感謝の気持ちを伝える。</li> <li>・ 「6年生ありがとうの会」を通して、学校のリーダーとして引張ってくれた6年生に感謝を伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導部会等で、今年度の成果や課題を出し合い、今後にかかしていく。</li> <li>・ 教育課程で今年度の成果と課題を報告し、来年度の取り組みを検討していく。</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 秋の蓮華寺池活動</li> <li>・ 6年修学旅行</li> <li>・ クラブ活動</li> </ul>		
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全校ペア活動</li> <li>・ 委員会活動</li> </ul>		
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ペア活動</li> </ul>	<p>重点目標 「自分も大切(自立) 相手も大切(共生)」</p>	
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ペア活動</li> <li>・ 委員会活動</li> </ul>		
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6年生ありがとうの会</li> </ul>		

## 1 本校のピア・サポート

本校では、学校教育目標「自立 夢 思いやり」、重点目標「自分も大切・相手も大切」を掲げている。この目標を、日々の授業や行事の中で意識して様々な活動に取り組んでいる。

特に、ピア・サポートにも繋がる「相手も大切」という言葉を職員も子どもたちも大事にして日々の学校生活を過ごしているため、今年度も多くの場面でピア・サポートの姿を見ることができた。

## 2 特徴的な活動

### ① 日々の授業実践 <提言3>

校内研修では、「心を込めて話そう」「あたたかく聴こう」を合い言葉にして、日々の授業づくりに励んでいる。友だちに自分の考えを理解してもらおうと一生懸命発表したり、発表の途中で「ここまで大丈夫ですか？」と相手のペースに合わせて話をしたりする姿などが見られた。また、聞く側も友だちの発表を理解しようと、相手の方を向いて話を聞いたり頷きながら聞いたりする姿も見られるようになった。このような、安心して発表ができる環境や温かい雰囲気構築が築き上げられることで、「分からなかったので、もう一度言ってください。」「このやり方を教えてください。」などといった反応も増えていき、子どもたちがお互いを支え合いながら授業を進めることができるようになってきた。

### ② 蓮華寺池活動 <提言4>

本校では、春と秋の2回、学校の近くにある蓮華寺池公園でペア（1・6年生、2・4年生、3・5年生）との仲を深めるペア活動の時間がある。蓮華寺池へ移動する際は、高学年の児童が車道側を歩いたり低学年の歩くペースに合わせていたりするなど、相手のことを気遣う姿が数多く見られた。また、遊ぶ時には、高学年が中心となってお互いが楽しめるように遊びやルールを工夫して取り組んでいた。

### ③ 児童会活動とペア活動 <提言6>

児童会が中心となって企画・実施する「全校ペア活動～SDGs すごろく～」が12月に行われた。事前に高学年が準備したさいころとすごろく表を使って、SDGsに関するクイズやミッションをクリアしながらゴールを目指すものである。ペアで協力してミッションをクリアしたり、高学年が低学年のペアにヒントを出しながらクイズに正解したりするなど、相手のことを考えながら楽しく活動することができた。

### ④ 全校掲示板の利用 <提言3・7>

1年間の活動の見通しが持てるよう、年間計画を全校掲示板に示した。また、各活動後に写真等で子どもたちの様子を掲示することによって、友だちだけでなく他学年のことも知るきっかけとなった。

### ⑤ 各学級での取り組み <提言4・7>

帰りの会にピア・サポートについて振り返る時間を設定したり、ピア・サポートコーナーを作って掲示をしたりしている学級もある。形態は学級ごと様々なものがあるが、どのクラスでもピア・サポートを意識して日々の学校生活を送っているため、学年が上がっても継続してピア・サポートを意識することができるようになってきた。

## 3 本年度の成果と来年度に向けて

形ややり方は異なるが、ペア活動や学校行事等を通して、ピア・サポートがどの学年にも広まり、たくさんの支え合いや助け合う姿が見られた。来年度も、今できていることを継続しつつもさらに発展するように、授業や行事だけでなく、何気ない日常生活にも数多くのピア・サポートが溢れるようにしていきたい。